

～第8話～「上下水道事業会計の令和2年度決算状況」についてのお話

水道事業会計

令和3年11月
Vol. 8

上下水道物語

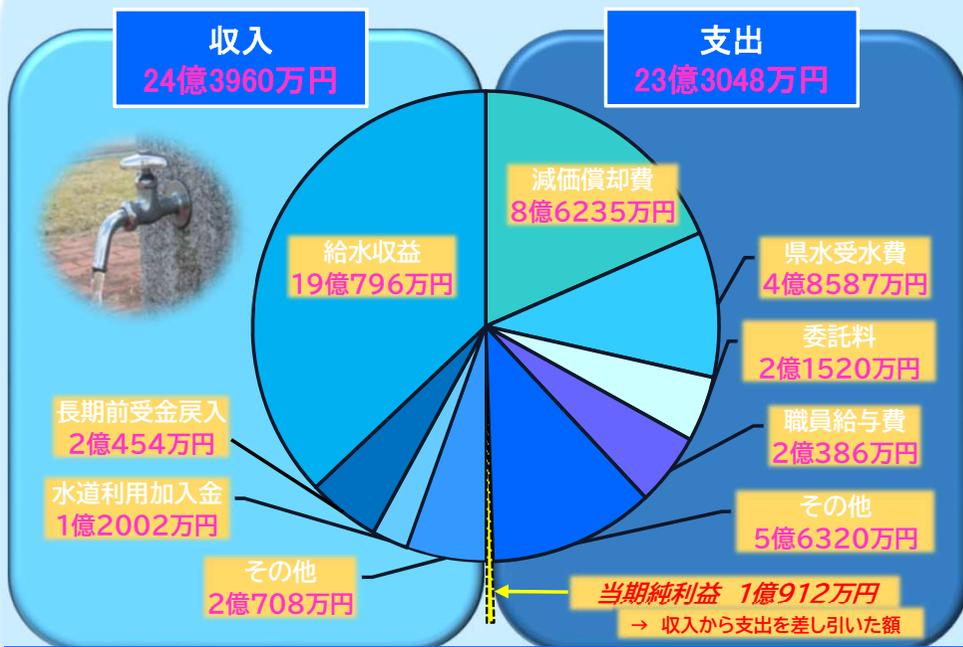


今後も経営環境が厳しさを増していくことを踏まえ、中長期の経営状況を見通し、事業の健全経営を維持できるように努めていきます。



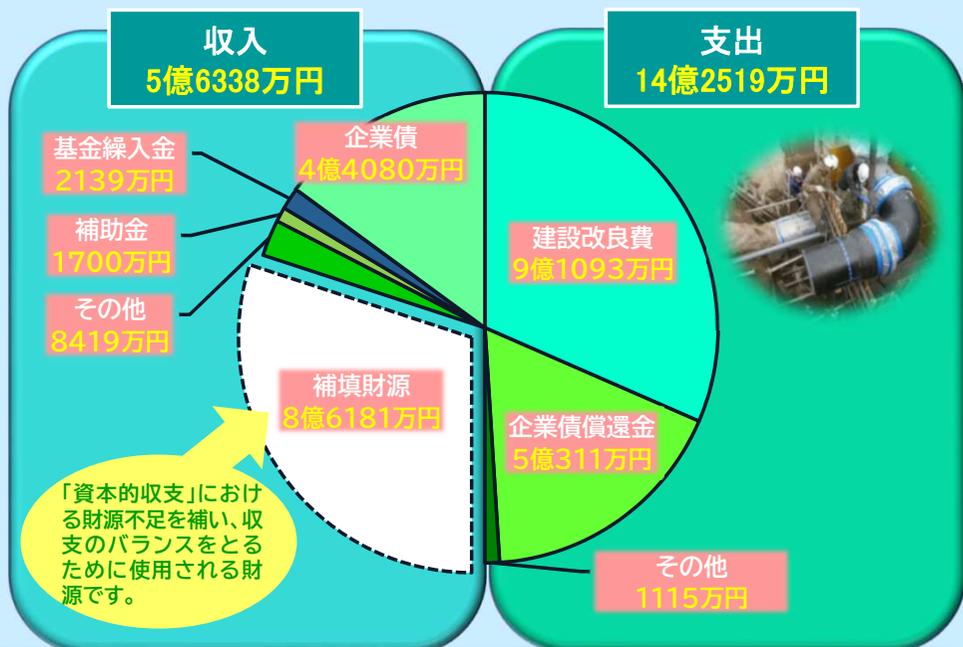
水道マスコットキャラクター Dr.おじびー

【収益的収支】 ※金額は消費税抜き表示
水道水を作り、各家庭などへ送り届けるための経費と財源



令和2年度の収益的収入は、前年度比で約2億200万円減となりました。これは、新型コロナウイルス感染症拡大により、悪化した市内経済への対策の一助として、令和2年6月から4か月間、基本料金の全額に従量料金分の10%を上乗せした額を減じる措置を講じたことにより、給水収益が前年度比で約2億9000万円減収となったためです。
また、収益的支出は、前年度比で約1億700万円減となり、純利益は前年度比で約9,500万円減の1億912万円となりました。

【資本的収支】 ※金額は消費税込み表示
水道管や水道施設などの整備のための経費と財源



※収入の合計額は、補填財源を含まない額で表示

令和2年度の資本的収入は、前年度比で約800万円減となりました。
また、資本的支出は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響が不透明であったことから、緊急性等を考慮したうえで、一部工事を未執行としたことなどから、前年度比で約1億5,600万円減となりました。
なお、収入額と支出額の差である、8億6,181万円は、企業会計のルールに従い、過年度分損益勘定留保資金(前年度以前に発生した内部留保資金)などで補いました。

公共下水道事業会計

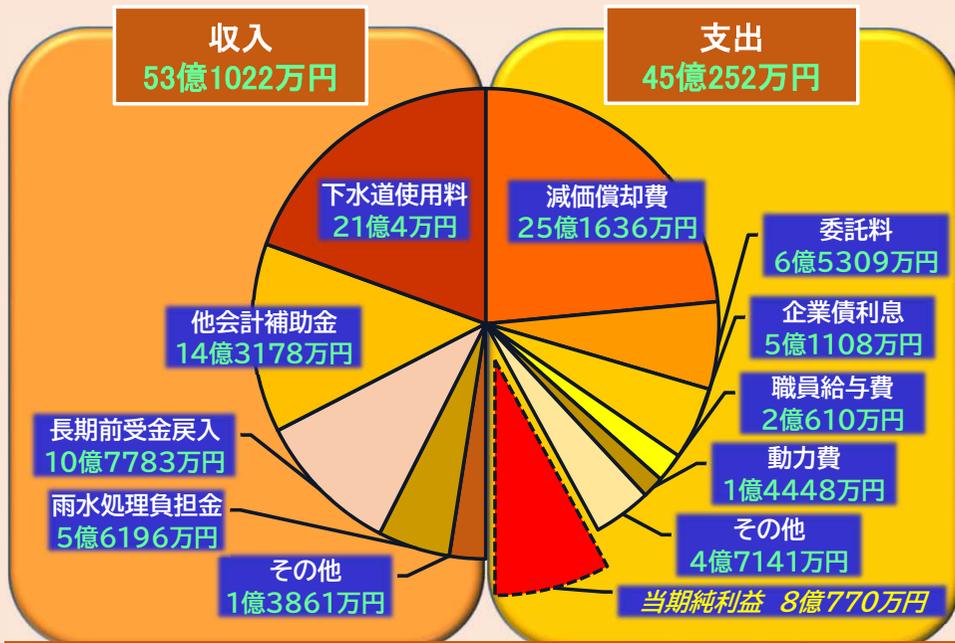


事業の健全経営、経営基盤の強化、負担の公平性のため、水洗化率の向上など、使用料収入の確保に向けて取組を強化していきます。

語句の説明

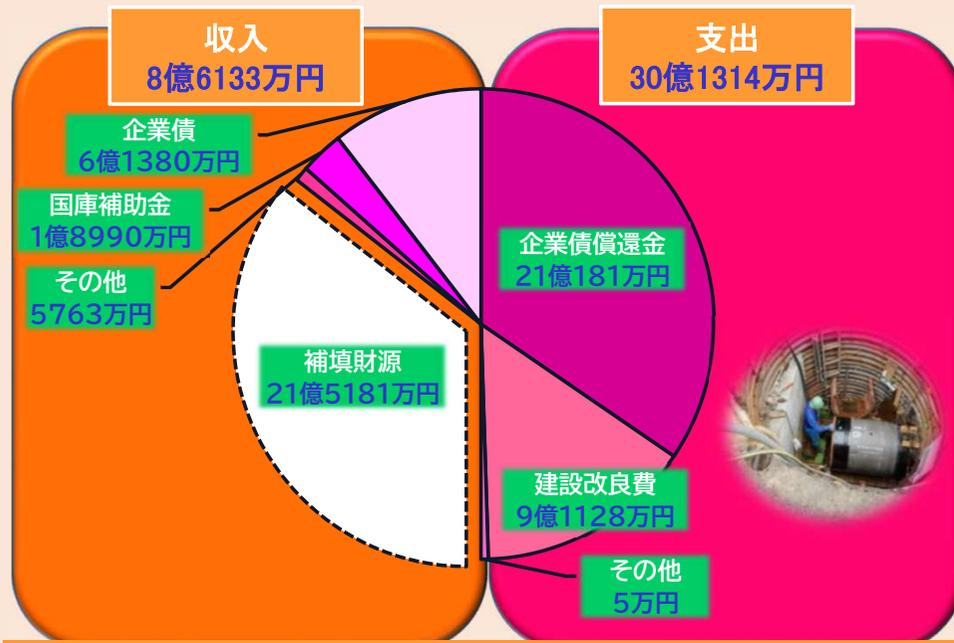
減価償却費 施設などは時間の経過で価値が減少するため、価値が減少する分を毎年の費用として処理するもの
 建設改良費 施設整備にかかった費用
 企業債 建設改良費に充てるため、国などから借りたお金
 建設改良費 施設整備にかかった費用
 企業債償還金 企業債を返済した費用
 長期前受金戻入 償却資産の取得などに伴い交付される国庫補助金等について、償却した額に応じて収益として整理したもの

【収益的収支】 ※金額は消費税抜き表示
 汚水や雨水を集めて処理するための経費と財源



令和2年度の収益的収入は、前年度比で約3,700万円増に留まりました。これは、本市の汚水事業の中心が、整備・建設から維持管理・更新に移行しつつあり、下水道への新規接続件数が以前より減少しているため、事業の主たる財源である下水道使用料収益が前年度比で約1,700万円増に留まったためです。
 また、収益的支出は、前年度比で約9,700万円増となったため、純利益は前年度比で約6,000万円減の8億770万円となりました。

【資本的収支】 ※金額は消費税込み表示
 下水道管や下水道施設などの整備のための経費と財源



※収入の合計額は、補填財源を含まない額で表示

令和2年度の資本的収入は、前年度比で約7億9,700万円減となりました。これは、企業債が前年度比で約4億6100万円減となったためです。
 また、資本的支出は、他事業の遅れ等の影響で工事を執行停止したことにより、前年度比で約8億200万円減となりました。
 なお、収入額と支出額の差である、21億5,181万円は、企業会計のルールに従い、当年度分損益勘定留保資金などで補いました。